

共同物流構築支援



- 多岐に及ぶステークホルダーの取り纏めを中心に、倉庫選定・オペレーション設計～システム導入まで、一貫してご支援することで、複雑性の高い共同物流PJを成功に導きます。

Client Issues – 課題

- 共同物流を行いたいが、競合関係にある他社に対して、どのように協業を持ちかければ良いか分からない。
- 共同物流の要件を詳細化していくにつれ、バイイングパワーの強い特定企業の意見ばかりが反映されてしまう。
- 倉庫やシステムの選定など、大きな投資に係る意思決定のたびに、各社の費用負担割合が問題になり、合意形成に時間を要する。
- 類似商材にも関わらず、現行のオペレーションが各社異なるため、共同物流における新業務プロセスの設計が進まない



Our Value – 提供価値

- 企業の枠組みを超えて広がるステークホルダーを如何にマネジメントするかが共同物流の鍵になります。
- 弊社が第三者機関として参画することで、従来の商習慣に引きずられた荷主企業優位な座組ではなく、企業間の対等なパートナーシップに基づく業界全体の最適化を実現する共同物流を構築します。
- ディベロッパーやロボベンチャーと協業し、個社ではスケール不足により実現できなかった最新マテハン導入や倉庫レイアウト刷新も選択肢に含めて、オペレーションの高度化を図ります。



Our Methodology – 解決手法

当事者間のみでの共同物流

荷主企業の商習慣に基づく、特定企業のコストダウンを目的とした座組みにより、スキームの持続性・拡張性に懸念。

当事者間のモチベーションの差異や利害関係により、具体的なオペ設計が進められない。

荷主
(川下)

荷主
(川上)

3PL

ベンダー



中立的な第三者の指揮による共同物流

共用システムやマテハンの導入による製品売上上の確保

マテハン
ベンダ

荷主

個社コストを極小化しつつ、中長期的な物流の安定化確保と社会アジェンダへの対応を実現

中立的な第三者
による旗振り

3PL

業界特化のオペレーション構築による業務委託料の確保

ディベ
ロッパー

業界特化の倉庫提供による賃料収入の確保

中立的な第三者の指揮により、すべての関係者にとって持続性のあるスキームを構築

- 多岐に及ぶステークホルダーの取り纏めを中心に、倉庫選定・オペレーション設計～システム導入まで、一貫してご支援することで、複雑性の高い共同物流PJを成功に導きます。

Project Approach – プロジェクト・アプローチ

潜在機会特定 ・検討事項の明確化

創出効果分析 ・ルール策定

運用設計

移行・稼働開始

目的

- 共同物流により相乗効果が見込める領域の特定
- 運用共通化に向けて合意すべきポイントの洗い出し

- ビジネスケース(ROI)の作成
- 運用規格(業界における物流標準規格)の合意

- 運用規格に基づく物流オペレーション/システムの設計
- 組織体制(アウトソース含む)および費用負担ルールの策定

- 特定商材/特定拠点からの段階的な統合
- 継続的な課題対応および改善活動の仕組み作り

概要

- 同業種・業界または、類似商材を取り扱う企業同士のワークショップを開催し、業界特有の構造的な物流課題を特定します。
- また共同物流化に向けて規格標準化・ルール統一化すべきスコープを取り纏めます。

- 各企業の現状実態をヒアリングを通じて整理し、共同物流のプラットフォームに参画することで享受できる財務的メリットを算出します。
- また合同セッションを開催し、参画企業間の物流標準規格を取り決めます。

- 定義した標準規格に基づくオペレーションを参画企業と共に設計し、共同物流センターにおけるSOPを策定します。
- また3PL委託費含む共同物流に係る費用の負担配分・振替方法を取り決めます。

- 早期の効果創出・潜在的課題の抽出を目的に部分的な段階移行を推奨しています。
- 移行後のトラブル対応や現場改善活動を体系的におこなうための責任と役割・指揮命令系統の整備を行います。

- 多岐に及ぶステークホルダーの取り纏めを中心に、倉庫選定・オペレーション設計～システム導入まで、一貫してご支援することで、複雑性の高い共同物流PJを成功に導きます。

事例



PROLOGIS
共同輸送コミュニティ

コミュニティの特徴

- 知識・マインドセットの習得**
共同輸送のスペシャリストを講師として誘致。共同輸送を実現する上での基本的な知識や考え方を学ぶことができます。
- 会員同士のリアルな情報交換**
毎月開催のワークショップで、共同輸送マッチング状況、成功・失敗事例を共有し合い、実践的な情報を得ることができます。
- 実践重視・個別フォロー**
共同輸送マッチングシステム「TranOpt」を利用した実践を行い、メンターが個別面談を通してサポートします。

プロロジス様が主催する「共同輸送コミュニティ」に、
プロロジスパートナーであるCAPESがコミュニティマネジャーとして参画。

- ✓ 本気でマッチングを目指す企業が、必要な知識・マインドセットを習得
- ✓ 同業他社・異業種の壁を越えた共同輸送の実現をサポート